

おおくらだより



令和5年3月

(文責) 北九州市立大蔵小学校

校長 増田 知夏子

【学校教育目標】

「心身ともに健康で、知・徳・体の調和のとれた自主的で実行力のある児童」の育成

泣いて笑って見送った「6年生を送る会」

7日(木)に本校体育館で「6年生を送る会」を開きました。1年生から5年生までの各学年から、歌やメッセージ、踊りなどを披露しました。最後は6年生から合奏のお返しがありました。担任の先生たちのもと、これまでの6年生へのありがとうの思いが伝わるようにと練習を重ね、何度も同じセリフを言いなおしている姿を見かけました。どの学年も発表も、とっても愛にあふれた、気持ちのこもったものとなりました。6年生の合奏を聴きながら涙が止まらず、うずくまってしまう子どもたちもいたほどです。本当に心温まる会になったのも、6年生が立派なお手本としての姿を見せてくれたからです。6年生のみなさん、ありがとう。みんな、いつも前向きな発言をし、やる気に満ち、リーダー性をもっていましたね。誰にでも優しく、仲間を大切にする学年でした。困っている人にすぐ手を差し伸べることができる君たちでした。4月から、新しい生活が始まりますが、立派な中学生になれると確信しています。がんばってね!

第112回卒業証書授与式

18日(月)には本校第112回卒業証書授与式を挙行了しました。小学校6年間は幼いころから通ったということもあり、保護者のみなさまには感慨深い日になったことでしょうか。友達と言い争って泣きながら帰ってきた日、勉強につまずいて落ち込んでいた日、先生に叱られて帰ってきた日など、どのご家庭でも思い起こせばきりがなほどに濃い6年間だったのではないのでしょうか。そんな日々を送りながら、子どもたちは着実に力をつけてきました。できなかったことができるようになり、自分がつけた力で人を助けたりするようにもなりました。また、困っている人に手を差し伸べてともに歩くこともできるようになり、そんな素敵に成長した姿を幾度となく見てきました。

「3月の風と4月の雨で、5月の花が咲く」という西洋のことわざがあります。この季節の天候を指す言葉で、3月は寒く、冷たい風が吹き、4月にはたくさんの雨が降り、気持ちは重いけれど、それらがあるから5月にいろいろな花が咲き、大きな実を結ぶ、という意味があります。これからの人生の歩みの中で、多くの困難に出くわすことでしょうか。しかし、どれもこれも大きな実を結ぶための試練であると受け止めて進んでほしいと願います。何をもって大きな実、とするかは人それぞれですが、人生はずっと続いていきます。どうかどの子も幸せになりますよう、心から希望します。

保護者のみなさまへ

令和5年度も本校へのご理解ありがとうございました。また、アンケートへのご協力もありがとうございました。真摯に受け止めてよりよい学校づくりを目指します。